

大好評！  
※詳しくは裏面へ

「選ばれる学校づくり」シリーズ／経営者・管理者向けセミナー

# 専門学校 進化論

## いますぐ、リーダーにできること

東京開催  
特別セミナー

無料

- 現状を見誤っている専門学校
- 組織が疲弊する“負のスパイラル”とは？
- “選ばれる”専門学校に必要な3つの約束（価値）
- 「ビジョン」と「目標」の違い
- 教職員の行動が変わる、たった1つの方法
- 進化する専門学校の「しくみ」とは？
- 「不一致」から「共有」へ、あなたにできること

日時

2016年

10月19日(水)

12:45受付

13:00開始 (約2時間半)

対象

専門学校の理事長，学校長，教務/広報の  
責任者など，組織運営や経営に携わる方

場所

アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 6F 霧島(東)

東京都千代田区九段北4-2-25 JR 中央線 / 地下鉄 有楽町線・南北線 / 地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅下車 徒歩2分

謹啓

近年、経済のグローバル化・第4次産業革命などを受け、産業界の人材ニーズは多様化しており、教育界においても「専門職業大学」（仮称）の制度化答申を受けて実に55年ぶりの新教育機関の創設が準備されるなど、現在の職業教育をめぐる社会環境は激変期にあります。

一方、専門学校をめぐる状況に目を向けると、専門学校入学者はここ数年26万人程度で推移しているものの、2018年問題で取りざたされているような18歳人口の再減少に備えて大学はすでに組織改革を推し進めており、今後さらに専門学校の学生獲得は難しくなることが予想されます。このような状況においては、専門学校の運営はこれまで通りの方法やその延長が通用しなくなることは想像に難くありません。

こうした状況に対応していくためには、もはや教育や募集といった各部局レベルでの改善では不十分であり、より高次の、組織レベルでの変革を学校経営者の視点から考えてみる必要があります。それでは、組織レベルでの変革を起こすために、学校のリーダーたる経営者にできることは何なのでしょう？

長年高校生のキャリア教育や職業ガイドに携わってきた13歳のハローワーク公式サイトと、19年にわたり高校生の進路決定研究を行ってきた㈱応用社会心理学研究所はこのほど、そのような問いに答えるセミナーを開催します。

今回は、例年ご好評をいただいている内容から視点を変え、組織を進化させるために経営者ができることについてお伝えするものになっており、専門学校の経営に携わる方にぜひお役立ていただきたいと考えております。

ご多忙の折とは存じますが、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

謹白

こんな方  
にお勧め

- ☒ 広告に頼った募集に疑問を感じる
- ☒ 入学者数が減り、将来に不安を感じる
- ☒ 今までのやり方ではダメだと思っている
- ☒ 教職員のモチベーションを向上させたい
- ☒ チームの連携を強化したい（広報と教務など）
- ☒ 自ら考え、動く組織を作りたい
- ☒ 募集や教育の課題と、その理由を知りたい
- ☒ アンケートの結果を改善に活用したい など

主催

13歳のハローワーク 公式サイト

村上龍氏のベストセラー《13歳のハローワーク》を契機として、2005年10月に立ち上げられ今では月間800万ビューを超える人気サイト。職業の検索や紹介のほか、仕事に就いている大人に、子ども達が質問できるコミュニケーション機能を備える。

㈱応用社会心理学研究所 <Aspect>

1987年に日本社会心理学会理事長（当時）の廣田君美を代表に社会心理学者が集まり設立されたシンクタンク。学校法人や大手企業のマーケティング活動や組織運営に関わり、社会心理学を応用した独自のノウハウを提供することで、他社では解決できなかった課題を解決している。

お申し込み方法

下記申込書をFAXにてお送りください

お問い合わせ

㈱応用社会心理学研究所 中村，松本 TEL:06-6941-2171

セミナー 参加申込書 FAX:06-6941-2081

※定員になり次第お断りする場合があります。

|                     |        |       |                 |
|---------------------|--------|-------|-----------------|
| 学校名                 | TEL    |       |                 |
| 所在地                 | 〒      |       |                 |
| ご出席者<br>氏名<br>(代表者) | (フリガナ) | 所属・役職 | 参加合計人数<br><br>名 |
|                     |        | メール   |                 |

※FAXのご送付をもちましてお申し込み受け付けとさせていただきます。お申込みいただいた方には後日、当日の詳細な資料をお送りします。

※今回はご都合が合わない場合は、お問合せください。次回案内や資料をご案内致します。

(TEL:06-6941-2171 担当：中村 松本)

★WEBサイトでも申込が可能 ➡➡➡  
<http://aspect-net.co.jp/seminar/>



# 公開セミナー開催実績



(株)応用社会心理学研究所ではこれまでも、専各連や学研などさまざまな機関と連携して、専門学校様向けに学校運営・募集広報に関するセミナーを開催してきました。

19年にわたる弊社の進路決定研究等をもとに、近年では、“**選ばれる学校**”とはどのような学校か、そのために必要な**しくみづくりやマーケティングのあり方**とは？といったテーマでセミナーを行っています。これまで、東京・大阪・兵庫・福岡など全国で実施され、理事長・学校長をはじめとする経営者の方々はもちろん広報・教務のご担当の方など多くの方にご参加いただき、事後アンケートからも参加者の満足度が高いことがわかりました。

東京 参加 67校,107名

大阪 参加 47校,62名

福岡 参加 15校,22名

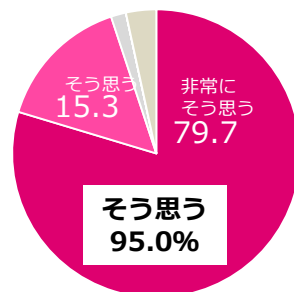
兵庫 参加 43校,121名

※2014年度、2015年度の合計

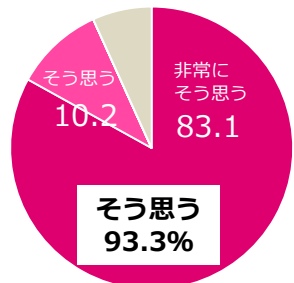
## セミナー参加者から毎回高い評価を頂いています ～参加者アンケートより（2015年度）～

- ◆数の指標ではなく“**価値**”の指標が重要であること、まさに我々の**問題点**だと感じました。
- ◆自校のブランドをもう一度教職員で考えて活動していきたいと考える。
- ◆教育の質を高める、自校のブランドを職員が言える、認識する、そしてそれを広報活動に活用していく、そんなことを考えました。
- ◆“価値”の測定がいかに大切かということがわかりましたが、**価値を表す言語を職員・教員・在校生で共有し語れるようにする**のに苦労しています。
- ◆**校務×広報間の価値の共有**については実践を心がけているところでもあり非常に理解・共感できました。しかしながら、トップマネジメントや、教育についての知見が乏しいスタッフをいかに巻き込むかということにあらためて課題を感じました。
- ◆ブランド化の方向転換を考え実行するにあたり、どのようなプロセスでやっていくのかに大変参考になりました。
- ◆数ばかりを追いかけて過ぎてしまいがちな日々の業務を少し見直していきたいと感じました。
- ◆とても参考になりました。広報・教務で共有できる価値をつくっていききたいと思います。
- ◆**教育側と事務（広報）側の目標一致の必要性**を再認識できた。
- ◆自校の弱点を再認識できたので、持ち帰り、さらに強い組織作りをしていきたい。
- ◆ライバル校が学費の値下げやモノで学生を集めているように感じていたが、それ以上に「**自校より魅力があるから**」「**“価値”に重点を置いているから**」ではないかということに気づかされた。

### Q.講演の内容が参考になった



### Q.セミナーに参加して良かった



## 学校事業分野での実績

(株)応用社会心理学研究所は、**進路決定研究については、19年の実績**があります。またその他にも大学、専門学校、大手進学情報関連企業からの受託調査や共同調査など、教育分野において幅広い調査研究を行っています。

### ◆専門学校

- 全国専門学校共同入学者調査／卒業生調査** 延べ150校以上  
専門学校の募集活動やブランド構築を支援し、教育の質の向上に役立てていただくため、(一社)大阪府専修学校各種学校連合会と(株)応用社会心理学研究所が共同調査を行っています。

#### <共同入学者調査>

- ・第1回 [2009.4] (参画校 10校) ・第5回 [2013.3-5] (参画校 70校)
- ・第2回 [2010.3-4] (参画校 9校) ・第6回 [2014.3-5] (参画校 79校)
- ・第3回 [2011.3-5] (参画校 43校) ・第7回 [2015.3-5] (参画校 80校)
- ・第4回 [2012.3-5] (参画校 71校) ・第8回 [2016.3-5] (参画校 61校)

#### <共同卒業生調査>

- ・第1回 [2014.12-2015.3] (参画校 28校)
- ・第2回 [2015.12-2016.3] (参画校 38校)

- 個別学校向けの受託調査** 延べ73校

上記の共同調査以外にも、非入学者調査、在校生調査、オープンキャンパス調査などの各種調査を行っています。

など

### ◆高校

- 高校生キャリアアンケート** 延べ20校

- ・第1回調査 [2007-2008] (5,956名)
- ・第2回調査 [2015-2016] (1,790名)

- “しごと観”育成研究会**

若者の“しごと観”の現状、およびそれらと関連する要因についての調査研究を行い、13歳のハローワーク 公式サイトにて調査報告を公開しています。

など

### ◆大学

- 受託調査** 延べ18校
- 全国大学入学者調査** (2万7千人)
- 出版**

『高校生から見た大学の「価値」と大学選びのメカニズム』(ナカニシヤ出版 2014)

など